

学校応援プロジェクト 2022年度活動報告

八王子市立由木東小学校プログラミング教育プロジェクト

6月24日（金）、八王子市立由木東小学校にて小学校1年生の生徒に向けて、パソコンの基礎知識・使い方を教えるプロジェクトを実施しました。

今回のプロジェクトは、初めてパソコンを使う小学校1年生の児童を対象とする授業です。

プロジェクト当日は最高気温が30℃を超える真夏日でしたが、水分補給等の熱中症対策をしっかりと行いながら予定通り行うことができました。



大学生が教室に入ると児童は「どこから来たの??」「私の名前は〇〇、なんていうお名前??」「何をやるの??」など興味を持って接してくれ、とてもいい雰囲気のもとで始めることができました。

まず授業を始める前に児童1人一台パソコンを配ります。児童たちは学校でパソコンを触るのが初めてであったため、担任の先生から手渡されると大興奮!!触りたくてうずうずしていました。

今回の授業では1人でログイン・ログアウトができるようになること、パソコンを扱う授業に前向きに取り組むことができるようになることを目的としました。

大学生が自己紹介をし、授業に入ります。授業者とサポートメンバーに分かれ、サポートメンバーは教室全体を見回し、児童のサポートを行っていきます。



まずはパソコンについて詳しく知らない子供たちに取り扱いを教えるため、「ログイン」「パスワード」「シャットダウン」といった、用語の説明から始めました。

ID やパスワードは英数字の組み合わせですが、アルファベットを知らない・キーボードの配列を知らない児童がほとんどです。そこで、ハイフンは分かりやすいよう、キーボードのひらがなのキー「ほ」を押すように示すなど、工夫しながら授業を進めました。また、「パソコンのキーボードの上に貼ってある文字は大事なものだから、人に見られないように注意してね!」といった声掛けでパスワードを人に知られてはいけないものだという認識をしてもらえよう工夫しました。

キーボードを指一本で打ちながらどんどん進めていきます。
「パスワードは見えなくなるからゆっくり打つんだよ」、「ログインのボタンを押す前に大学生に確認してもらおう!」、「もし難しかったら大学生に見てもらおう!」など声かけを行い、順調にログインすることができました。作業が上手いくと大歓声が上がりました。



パソコンにログインすることができたので、次はログアウトの方法を学びます。

「画面の下にあるところを押してりんごみたいなマーク(電源ボタンの意)を探してください。」私たちが日ごろ当たり前に行っているシャットダウンの作業も、小学校1年生に教えるとなると一工夫必要になります。電源マークを黒板に書きつつ、分かりやすい言葉で説明することが必要です。マークを押してシャット

ダウンがうまくいくと画面が真っ暗になる、その状況も児童は楽しんでくれました。

一通り説明を終えると、児童が1人でログインの作業をする時間に入ります。小学生の上達は早いもので、できる子は5分もかからずパソコンにログインすることができました。

授業の後半は児童がパソコンを使って遊ぶ時間になります。パソコンにログインし、検索エンジンを開きます。そこからJamboardを使用して自由にお絵かきを楽しみます。簡単に使い方を説明するだけで児童は理解することができ、たくさんの絵を描いて楽しんでいました。

授業後のアンケートでは、「楽しかった!」「大人になったような気がした」「またやってみたい」というような意見があり、私たちもとても嬉しかったです。

由木東小学校の先生方、貴重な機会をいただきありがとうございます。

1年生のみなさん、また一緒に勉強しましょう!

